

令和4年度 第4回理事会議事録

- 1 日 時 令和4年9月13日（火）午後3時～5時00分
- 2 方 法 会場（ホテルプラム）とオンライン（Zoom）による会議
- 3 出席者 理事15名、監事2名
（うち理事7名、監事2名はオンライン参加）
- 4 進 行 議長（会長）

5 協議事項

(1) 代表者・院長会議について

協議を行った結果、講演会についてはより多くの方に参加していただくためWebでの参加も可能とするよう準備していくこととなった。また、代表者・院長会議の協議事項については、その場で各病院より意見を言っていたこととなった。

(2) 各種表彰候補者の推薦について

神奈川県精神保健福祉協会長表彰候補者は、協議の結果、橋本貴行看護師（愛光病院）を推薦することとなった。

公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者は、協議の結果、該当無しとなった。

令和5年度「社会貢献者表彰候補者」は、協議の結果、該当無しとなった。

また、神奈川県救急医療功労者表彰受賞が清川遠寿病院に決定したことが報告された。

(3) その他

- ・精神保健福祉法の身体拘束以外の「固定」について

畑理事より説明があり、協議を行ったが、協会としての意見を出す段階にはなっておらず、他団体でも検討を行っていないことから、今後、日精協の指針や横浜市の検討状況などを注視していくこととなった。

- ・当番弁護士制度について

8月9日（火）にオンラインで竹内会長、山口副会長、大滝理事、古谷顧問で打合せを行い、協議会を設けている福岡県の状況を確認することとなり、竹内会長が福岡精神科病院協会会長、事務局長に確認した内容が次のとおり報告された。「意見交換の場であってそこで何かを決めているわけではないこと、弁護士会からの結果報告が多いこと、要望書等が出てきても預かっているのみであること、弁護士訪問依頼については協会としては何もしていないこと、ステッカーの貼付要請は病院の判断として、などの内容であった。」竹内会長より、次回理事会で具体的に意見交換の場について協議することとなった。

6 報告事項

(1) 日精協報告について

資料のとおり、令和4年9月1日（木）に開催された第4回理事会について、大野支部長より報告があった。また、日精協医療安全委員会資料の報告があり、事故が起きたときには、問題がないと思ってもA報告書は出すよう話があった。

(2) 会員病院の届出事項変更について

資料のとおり、聖マリアンナ医科大学病院の事務長変更届出、また、日野病院と丹沢病院の開設者変更届出が報告された。

(3) 各部長会について

資料のとおり、それぞれ10月に第2回研修会を開催することが報告された。

(4) 各種会議について

9月6日（火）に開催された「精神保健福祉審議会」について竹内会長より報告があった。

書面開催の通知があった「第32回 かながわ自殺対策会議」は、「かながわ自殺対策計画（第2期）骨子案」について意見があれば大滝理事まで提出するよう話があった。

7月21日に開催された「第31回 かながわ自殺対策会議」について開催結果議事録により報告があった。

9月6日に開催された「令和4年度神奈川メンタルヘルス対策推進連絡会議（第2回）」について増田理事より報告があった。

(3) 第3回理事会議事録について

議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。

(4) その他

・事務局より、10月・11月の休日輪番、夜間輪番の空床確保について依頼した。

・次回理事会は、11月8日(火)に開催することとなった。

以上で、全ての審議を終了し議長は午後5時00分理事会の閉会を告げた。